長洲町立長洲小学校　校長便り　スピンオフ

みんなの居場所

親子でチャレンジ強歩会SP③

令和6年3月18日(月)

6年

日頃、家で運動せずにダラダラしているため、たまには動こう!と思い参加しました。去年も完歩しているし楽勝でしょ!等と軽い気持ちでした。始めは朝早くということもあり、みんな眠そうながら笑顔一杯でした。私は姉と一緒に参加したのですが、姉もずっと話が止まらないくらい元気でした。歩き始めて6㎞、この調子なら大丈夫だろうなと思いました。初めてのコンビニ休憩では、みんなビックリするほど肉を食べていました。サポーターの人には校長先生の息子さんと初めての参加の人、子供が生まれたばかりなので途中で抜ける人の3人でした。3人ともよく話す人で、中でも〇〇さんという初めて参加の人の笑顔に救われました。(推しにちょっと似ているし、ザ・えがお!って感じの笑顔だった。)姉はダイエット中だから、なるべくお菓子は食べないと言っていたのですが、きつさに耐えるためにはお菓子が無いと無理でした。残り10㎞くらいになると、感覚がマヒしてきて痛みも平気になっていきました。友達は腕を組んでいかないと歩けないくらいでした。最後のコンビニではあまりにもお腹が空いていたため、お金はあまり遣いたくなかったのですが、結局チキンを買いました。疲れていたからか、上着にチキンの油がベッタリと付いていました。学校に着いてからは達成感というよりは解放感の方が強かったです。次の日は足が痛かったのですが、前日にストレッチをしたりマッサージをしたりしたため、去年よりも楽だったように思います。姉は次の日ずっと座ってお菓子を食べていました。今回は貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。一生の思い出になりました。

6年

私は初めて強歩会に参加しました。友達と協力して最後まで歩けました。たくさんのコンビニがあって、ナナチキや唐揚げ君が美味しかったです。途中、メチャクチャきつかったけど、みんなでコンビニ探しながら歩くのが楽しかったです。みんなセブンイレブンが見えたら元気になるんですよ。でもコンビニを出た瞬間みんな真顔でした。〇〇ちゃんや〇〇ちゃんと推しの話をしながら歩くのも楽しかったです。おにぎり6個とトマト10個くらい自分で持ってきて食べてたら、みんなから「ピクニック?」って言われながら、みんなで笑いました。友達と色んな楽しい思い出ができて良かったです。〇〇ちゃんや〇〇ちゃんが、私が疲れていた時に手を引っ張ってくれたり、楽しく行けるように提案してくれたりしたので、歩いている時はめっちゃ楽しかったです。〇〇ちゃんや〇〇君はスキップしながらずっと笑顔だったのが凄かったです。43㎞完歩できて本当に良かったです。ギリギリまで強歩会に出ないどこうかなぁと思っていたけど、前田先生や友達が誘い続けてくれたので行くことができ、最高の思い出になりました。6年生なので来年は強歩会に参加できないけど、また参加したいと思いました。誘ってくれたみんなと今年も開催してくれた校長先生、ありがとうございました。最高の思い出になりました。

6年

私は母と妹の3人で参加しました。最初は1人で淡々と歩いていたのですが、淋しくなってきて途中から友達と話しながら歩いていて、その時間が楽しかったので、「友達と一緒なら歩きとおせるかも!?」と思うことが出来ました。しばらく歩いたら8時ごろに班別行動になり、班のみんなと話し合って「最初の元気があるうちになるべくたくさん歩くようにしよう。」ということになりました。班別行動になって30分くらい経った頃に、妹が疲れてきてずっと「きつい…」と言っていました。でもみんなで「休憩まであと少し!」と励まして、妹も頑張って歩き、やっと休憩のコンビニにたどり着いて休憩すると、妹もうるさいほど元気になり、班のみんなが妹の事を励ましてくれたおかげで妹も休憩まで頑張れたと思うし、私がきつい時に班の友達が先頭を歩いてみんなを引っ張ってくれたので、「この班でよかったな。」と思いました。最後の10㎞に入ってから、みんな「足が痛い…」と言いながら、お互いに「もう少し!」と励まし合いながらファミマに着いて、みんなでファミチキを食べてちょっと元気になった?と思います。そこからは足が痛すぎてあまり覚えていませんが、とにかく私は今まで励ましてもらった分、次は私がみんなを励まさないといけないと思い、「みんな、あと少し!頑張ろう!」と声をかけて、やっと長洲小が見えてきました。ゴールではみんなで手をつなぎました。ゴールした時は、今までに味わったことがない達成感を得ることが出来ました。

強歩会を通して家族の絆を深めることもできたし、友達とも最後の思い出を作ることができたので良かったです。サポーターの方々もたくさん楽しい話をしてくださって、友達ともたくさん楽しい話が出来て、とても楽しかったです。校長先生をはじめ、私達を支えてくださった方々、そして応援してくださった先生方、車でサポートしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。強歩会で小学校生活最後の最高の思い出を作ることが出来ました。本当にありがとうございました。

4年

私は初めての体験で最後まで歩けるか心配でした。でも最後まで歩くことが出来ました。きつい時間もあったけど、休憩をしながら進みました。サポートの〇〇さんからサインをもらって嬉しかったです。〇〇さんも面白くて、歩いていてきつい時も話すだけで元気をもらいました。お姉ちゃんはさすが1年先輩(昨年の強歩会経験者なのです。)で、最後までしっかり歩いていてかっこ良かったです。妹はまだ2年生で少しせえん坊だったので、1回戻って迎えに行きました。手をつないだら少し元気を出して、最後は一緒にゴールしました。とても楽しくていい思い出になりました。また強歩会をしたいです。

2年

私は初めての強歩会だったのでちょっと不安でした。折り返し地点くらいから少しずつ足が痛くなってきました。でも丁度パパとお兄ちゃんが駅伝大会の前に会いに来てくれたので元気が出ました。〇〇さんがサインをくれて嬉しかったです。〇〇さんも面白くて、きつくなった時に話すと元気パワーが出てきました。最後はみんなでゴールして、きつかったけど楽しく終われました。お家に帰ってからお風呂とご飯の時にライオンみたいな大きな口のあくびが何回も出たけど、また強歩会に参加したいです。

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。(「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　)

6年

私は今回初めて強歩会に参加してとてもきつかったけど楽しかったです。班のみんなと話したり、声をかけたりしながら、お互いに支え合うことができたし、協力することの大切さというものも学びました。また、メンタルや体力の面も成長できたと思うし、何より諦めない心を学んだような気がします。最初の方はみんな笑顔だったけど、最後ら辺のみんなの顔は辛そうでしたが少し面白かったです。私は最初は40㎞くらいの距離を歩いたことが無かったので、完歩するのは無理かなと思っていました。でも、「無理じゃなくて頑張れば行ける！」「ポジティブに頑張ろう！」と前向きに考え、最後まで歩き通すことが出来ました。最後まで歩き通すことができたのは、自分の力でもあるけれど、班のみんなやサポートしてくださった方々のお陰だと思っています。サポーターの方は疲れて一番後ろにいる子に話しかけて一緒に歩いてくださいました。そのお陰で、全員でゴールすることが出来ました。本当に感謝しています。吉坂先生や笠原先生にも途中で応援して頂き元気を頂きました。本当にありがとうございました。また、6年生の最後の思い出づくりにもなったこの「強歩会」を企画してくださったPTAの皆様や自分の体験を基に私達に「強歩会」について教えてくださり、サポートしてくださった校長先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。私はもう少しで卒業しますが「強歩会」で学んだことを活かして中学校でも頑張ります。

6年

ぼくは初めて強歩会に行って、最初全然余裕じゃんと思っていたけど、最後ら辺になると本当に無口になって足が動かないくらいとても痛くて、去年参加していた人たちはこんなに痛かったのに学校に来ていてすごいなぁと思いました。歩いている大人の人と楽しい話をしたり面白い話をしたりして、とても楽しかったです。

ぼくにとって強歩会はすごい経験でした。それと、足が痛い時に座ると、（立ち上がる時）とても痛いことを初めて知りました。ぼく的に最後の休憩が終わった後の帰り道がとてもきつくて、そして一本道がずっと続いていたところもとてもきつくて、やめたいと思うほどきつかったです。ぼくの隣にいた大人の人が優しく声をかけてくださり、友達が声をかけてくれたおかげでやめたいという気持ちに勝てたんだと思います。でも、次の日から1日2日は足が痛かったです。

ぼくにとって強歩会という経験のお陰で少し自信を持つことが出来ました。中学校、高校ではもっときついことや行事があるかもしれません。でも強歩会の経験を思い出せば乗り越えることができるような気がします。この強歩会の経験で、諦めない心や色々な人とのコミュニケーション力の大切さも学びました。また、小学校での大切な思い出もできました。強歩会の足の痛みや辛さなどをクリアした後の達成感を、たくさんの人達に味わってほしいと思っています。だからまたいつか参加してみたいです。この気持ちを持ったまま中学生になろうと思います。

保護者

私は昨年参加できなかったので、今年の強歩会を楽しみに当日を迎えました。朝の5時、まだ暗い道を子供と一緒にワクワクしながら2年生の二女と手を繋いで歩き始めました。国道208号線のバイパスに入る頃には、太ももがパンパンでしたが、「疲れた。足が痛い。」という二女を6年生の長女と2人で手を引き、励ましながら歩みを進めました。途中、子供達やサポーターの方と話をしたり歌ったりしながら、保護者の方、先生方の応援で元気をもらい、なんとかYボックスまで辿り着きました。この頃には完歩できるか心配だった二女が逞しく見えていました。みんな足の痛みがピークで歩みが遅くなる中、元気に笑顔でコンビニを求めて歩き続けてくれました。長女は終始元気で、足が痛くなり足取りが重くなっていく友達の手を取り、荷物を持ち、励ましていました。更に長女は、足の痛みがピークで早くゴールに辿り着きたい一心で先に進んでしまう私に、声をかけ後ろを気遣うよう何度か注意してくれました。最後まで全体を見て行動ができる娘に感心し、「これが強歩会なんだなぁ」と改めて思いました。

足の痛みや辛さはありましたが、家では見ることのできない娘2人の大きな成長を見ることができ、良い1日になりました。

この様な機会を与えてくださり、安全に歩けるように準備やお手伝い、見守りをして頂いたPTAの皆様、先生方、サポーターの方々、本当にありがとうございました。

保護者

強歩会の参加のきっかけとなったのは、子供自身の「参加してみたい。」という一言が始まりでした。初めは絶対に無理だと思っていました。しかし、参加してみたら親が思っているよりも子供は強いと思いました。親の考え「小さい子供には無理」という考えが浅はかだったと思いました。子供のチャレンジ精神にはとても驚きましたし、無理だとかできないとか、簡単に決めつけてはいけないと思いました。この達成感はチャレンジしないと経験できないし、心から参加してよかったと思います。まだまだ、これから成長していく子供の自信にも繋がったと思います。子供は今からまだ色々な壁にぶつかると思いますが、それ以上の多くの事に挑戦し、心身共に強くなってもらいたいです。

こんなに貴重な体験をさせて頂き、親子と共に成長できたと思います。ありがとうございました。来年も開催されるのならば、3年生と1年生の我が子と3人でまた挑戦したいと思います。

澤田　敦

私はこれまで数十回のナイトハイク、強歩会に参加してきた。その度に同じ感覚を児童、保護者、地域の方々と共有してきた。今回の強歩会でも同じだった。毎回、実施前と実施後で反応が違ってくるのが面白い。実施後、殆どの参加者は「参加してよかった。」と感想を寄せてくださる。特に保護者の皆さんはそうだ。

私を含めた大人は、辛く苦しいこと生活経験や人生経験から、肉体的、精神的に知っている。時にはそれを乗り越え達成感を味わい、時には避け挫折し、それを繰り返すうちに、自分に身近な人達（大切な家族等）には、苦しさや辛さ、挫折を味わわせたくないという心情に駆られる。この心情は保護者となり、大切な人が増えていくほど強まっていくような気がする。この様な心情を戒めるための諺がある。

「可愛い子には旅をさせよ」

「旅をさせる」とは、私たちがレジャーとして楽しむ「旅」とは少しニュアンスが違う。つまり、子供を世の中に出して、その辛さを経験させることを「旅をさせる」と言い換えているのだ。人生は楽しいことだけではなく、自分で乗り越えなくてはいけない辛いこともある。それらに対応できる経験をさせる大事さを伝える言葉なのだ。でも、最近では子供に辛さを経験させるどころか、どうかすると、先回りして辛さを経験させることを排除している。子供は時間が経てば自立しなければならない。その為には、発達段階に応じた経験をさせなければ、自立の芽を摘むことになる。

経験する度に強歩会は子供だけでなく、我々保護者にも何かを教えてくれているような気がするのは私だけだろうか。子供だけでなく我々大人も辛さの中に放り出され、子供達の頑張りを間近で見守ることができ、間近で突き放すことができ、成長に驚かされる。子供の可能性は無限だということを改めて感じることができるのではないだろうか。

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　　可　・　不可　）